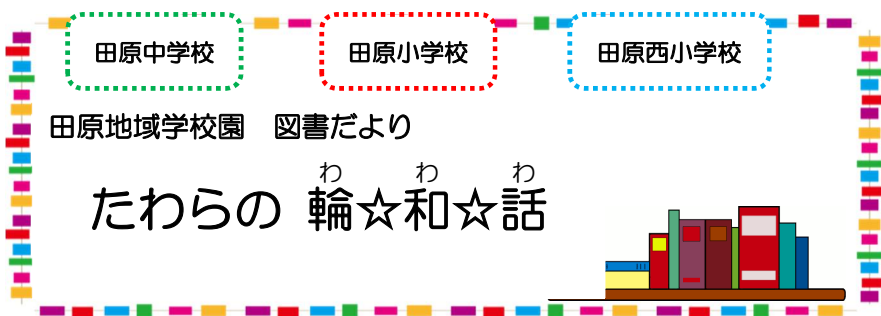
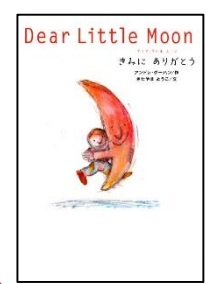




令和7年3月 発行

3月は旅立ちの季節です。田原地域学校園の司書から、新たなスタートにおすすめしたい本を紹介いたします。

たわらしょうがっこうししょ さいとう
田原小学校司書・斎藤



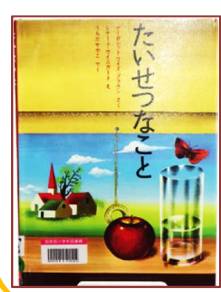
『Dear Little Moon
きみにありがとう』
アンドレ・ダーハン/作
E/ド 講談社

『おもいきって とべたのは きみの おかげ
ここから わらえたのも きみの おかげ』

いつかは別々の道に進むけれど、一緒に過ごした時間は消えることはない。いつも心はそばにいるよ。大切な人と一緒に読みたくなる、心に響く一冊です。別れの季節にピッタリ。

【田原小・田原中の図書室にあります】

たわらにししょうがっこうししょ えづれ
田原西小学校司書・江連



『たいせつなこと』
マーガレット・ワイス・ブ라운/文
レド・ワイス・ブロード/絵
E/ブ フレーベル館

『あなたに とって たいせつなのは
あなたが あなたで あること』

まわりがソレに対して思う「たいせつなこと」は、たくさんあるかもしれない。けれど、ソレにとって本当に「たいせつなこと」は、実はシンプルなものなのです。

【田原中・田原小・田原西小の図書室にあります】

たわらちゅうがっこうししょ ひらの
田原中学校司書・平野



『+1 cm』
キム ウンジュ//文
ヤン ヒョンジョン//イラスト
やなだ 順子//訳

『ポジティブに考えてときの
胸のときめき、ワクワクする感覚
それ自体の楽しさを見落としてはいない？』

知らない場所や、新しいことは、ちょっとドキドキ。でも大丈夫。+1 cm見方を変えるだけで毎日ハッピーに。これから始まる挑戦が楽しみになる、そんな本です。

【田原中の図書室にあります】

2024年1月1日に、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。また、3月11日には東日本大震災から14年目を迎えます。災害はいつやってくるかわかりません。もし、学校の図書室や公共図書館にいたときに大きな地震が起きたら、どのような行動を取ればよいのでしょうか。



もしも、図書室で地震にあったらどうする？



ゆれを感じたら、すぐに本だなから離れて！

本だなの中の本が落ちてきたり、ゆれによっては本だなそのものが倒れてきたりして、とても危険です。本だなからはできるだけ離れるようにしましょう。



机やテーブルの下に隠れて身を守ろう！

ゆれが大きい場合、照明器具が落ちてきたり、窓ガラスが割れたりする恐れがあります。丈夫な机の下などに隠れて、身を守りましょう。



あわてて外へ飛び出さないで！

あわてて行動すると、たおれたり転んだりする危険があります。ゆれが収まってから、先生や周りの大人の指示をよく聞いて、素早く避難しましょう。



春は、防災を見直すタイミング

新生活がスタートするこの季節は、身の回りの防災について確認するチャンスです。田原地域学校園の図書室には、防災に関する本がたくさんあります。いざという時、自分の身や大切な人を守るのは事前の備えと知識です。本を通して防災意識を高めましょう。



『こどものための
もしもマニュアル全2巻』
佐藤 健：監修 理論社

【田原小・田原中の図書室にあります】



『これからの防災
身につけよう！自助・共助・公助①
地震・津波』
近藤 誠司：監修 ポプラ社

【田原西小の図書室にあります】



『自衛隊防災BOOK』
マガジンハウス：編集

【田原中の図書室にあります】